

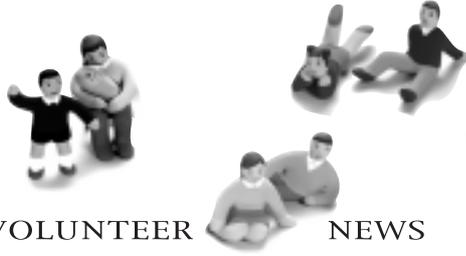
# 市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2003年

5月号

平成15年4月25日発行  
通巻53号



市民活動ニュースが『市民活動・ボランティアニュース』に変わりました。もともと、市民活動という言葉はボランティア活動も含んでいます。三重の市民活動をさらにパワーアップするために、さらにボランティアのニュースも充実させていきたいと思えます。ボランティアをはじめたい方、ボランティアを必要としている方も『市民活動・ボランティアニュース』を是非ご利用ください。

さて、『市民活動・ボランティアニュース』を担当するNPOチームの担当も長崎禎和さんから森下道大(もりした みちひろ)に変わりました。今後一年よろしくおねがいします。

変わったといえば、NPOチームメンバーも替わりました。私の他では森西宏巳さんが異動になって、中村敏孝さんがいらっしやいました。中村さんには、是非来月号で登場をいただく(?)予定です。

また、NPOチームのメールアドレスとホームページのアドレスも変わりました。登録をいただいている方はお手数ですが変更してくださいね。

法律では、5月1日より改正NPO法が施行になります。この内容については、「みなさんへのお知らせ」のコーナーに掲載しておりますのでそちらで是非確認してください。

もうひとつ変わったといえば知事の北川さんが野呂さんに変わりましたなあ。しかし、NPO施策については、行政と市民との協働という時代の流れが変わることはないでしょう。むしろ、「協働」の意味する内容がますます深く、「進(深)化」していくと思えます。

NPOや市民の方と行政が互いに信頼し、実施の部分だけの委託にとどまらず、施策の立案部分から関わり合いになって「みえ」をつくっていく、そんな市民中心型の社会が近い将来実現されるのではないのでしょうか?

さて、そんな近い将来が日々の活動の延長上に存在するとすれば、この『市民活動・ボランティアニュース』の役割はかなり重要ですね。そして、『市民活動ボランティアニュース』は、市民活動をしていらっしゃる人がいなければ成り立ちません。

これからもあすの「みえ」のため『市民活動・ボランティアニュース』に、是非情報提供をよろしく願います。結局これが本音だったりして……。ちゃんちゃん。

三重県生活部NPOチーム 森下道大

## 仕切りの無いのは机だけではありません!?

三重県ボランティアセンターの野村です。

三重県社会福祉協議会・ボランティアセンターがアスト津に移転して2年が経ちました。今や恋人(?)になろうとしているNPOチームとも、1年目は県民交流センターという同じマンションに住むお隣りさん状態でした。とても近くにいなながら、どんな関係を築いていこうかと模索していた時期でした。そして2年目。オフィスのワンフロア化に伴い、距離が縮まったことでNPOチームのメンバーと話す機会が増え、お互いの仕事も見えるようになってきました。

2年目の今年は、『市民活動・ボランティアニュース』を充実したものに創り上げようという同じ思いを持って歩みだそうとしています。これを機にさらに接近!ともに三重県のボランティア・市民活動を支援していけるよう最強のパートナーになりたいと思えます。それと同時に、県下で活動されているみなさんとも顔の見える関係をつくっていききたいと思えますので、たくさん情報をお寄せください。

三重県ボランティアセンター 野村希代



アスト津3階の『みえ市民活動ボランティアセンター』では、ごらんのように森下道大と野村希代は机を並べていっしょに仲良く?仕事をしています。三重県内の市民活動やボランティア活動をさらに元気にするために、さらにいろんなことをつなげていきたいと思っています。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

発行

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5971

E-mail seikunpo@pref.mie.jp

NPOチームのホームページ

<http://www.mienpo.net/npot>

三重県のホームページ

<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバース3階)/オールウェイズ(津センターバース1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/(有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4)/鳥羽NPOネットワークセンター(総(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内)/四日市市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり考房みなと(四日市市川原町26-13)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウイリアム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所)/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリゾート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店/三井銀行各店/東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール/津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

# イベントスケジュール

県民講座 UD(ユニバーサルデザイン)のまちづくりシリーズ

## 第1回 開講記念～UDとは～

とき / 5月10日(土)PM1:30～PM4:30  
ところ / 三重県総合文化センター三重県文化会館 小ホール  
(津市一身田上津部田1234) 参加費 / 無料  
内容 / 三重県では、障害の有無や年齢、国籍などにかかわらず、だれもが自由に社会参加できるまちづくり=ユニバーサルデザインのまちづくりを進めています。いろいろな分野におけるユニバーサルデザインのまちづくりについて、県民の方々と一緒に考える講座を、5回シリーズ(以降、7月、9月、11月、平成16年1月に開催)で開催します。今回は川内美彦さん(一級建築士事務所 アクセスポジプロジェクト主宰)による記念講演「ユニバーサルデザイン～バリアフリーへの問いかけ～」などを行います。  
応募締切 / 5月2日(金)定員(100人)になり次第締切。  
申込方法 / 所定の申込書を郵送またはFaxするか、電話、E-mailで。また、三重県電子申請・届出システム(<http://www.shinsei.pref.mie.jp/>)からもお申込みいただけます。  
主催・申込・問い合わせ先 / 514-8570 津市広明町13 三重県健康福祉部ユニバーサルデザインチーム  
Tel.059-224-3349 Fax.059-224-2340  
E-mail ud@pref.mie.jp  
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/ud/hp/>

## 地産地消ネットワークみえプロジェクト活動発表会 第2回(中南勢・東紀州地域の活動中心)

とき / 5月10日(土)PM1:00～PM4:00  
ところ / 嬉野町ふるさと会館  
(嬉野町大字権現前423-88 Tel.05984-2-7000)  
内容 / 地産地消運動を多くの方に理解していただき、県民運動として盛り上げていくため、地産地消ネットワークみえ(代表:石田正昭・三重大学生物資源学部教授)は、会員の提案によるプロジェクト活動を行ってきました。平成14年度の活動発表会を開催します。  
【発表グループ】  
(財)奥伊勢振興公社「木つつ木館」、多気町堆肥研究会、農村女性ネットワーク「たべごろ」、かねこ米店、三重ヘルスメイト伊勢支部、紀南おやこ劇場、三重県豆腐商工組合  
主催・問い合わせ先 / 地産地消ネットワークみえ事務局  
Tel.059-259-0859 Fax.059-259-0862  
E-mail tisantisho-mie@mate.pref.mie.jp  
ホームページ <http://mie.ecodes.ne.jp/titi/>

## 自然観察会と絵てがみ体験

とき / 5月11日(日)AM9:00～正午  
ところ / 白塚海岸グラウンド(津市白塚町)  
参加費 / 300円(材料・保険料)  
内容 / 伊勢湾で一番広い砂浜と穏やかな海でみつけた自然を絵てがみに描いてみませんか。白塚海岸では、ハマヒルガオが潮風にゆれる5月は一年中で一番気持ちのいい季節です。  
持ち物 / 小筆3本、水彩絵の具(無い場合はこちらで用意します)  
募集人数 / 30人 応募締切 / 4月30日(水)  
申込方法 / 電話またはFaxにて、住所、氏名、連絡先を下記まで。  
申込・問い合わせ先 / 白塚の浜を愛する会(西口)  
Tel.&Fax.059-231-7170  
主催 / 白塚の浜を愛する会、白塚ウミガメクラブ、カメカメニュース



## やってみよう川の調査

～水生生物観察&パックテストで水質調べ～  
とき / 5月11日(日)PM12:30集合～PM4:30  
ところ / 青山町上津コミュニティセンター集合～青山川  
参加費 / 無料  
内容 / 身近な川に住んでいる水生生物の観察をしてみましょう。どんな生き物がいるかな?パックテストを使って水質を調べてみましょう。指導は同志社大学の井上泰江さん。ご家族での参加もお待ちしております。15歳(中学生)以下の方は保護者同伴で参加してください。なお雨天の場合は水生生物のビデオ上映会、パックテスト

と河川水質についての学習会を行います。  
持ち物 / ぬれても良い運動靴か膝丈の長靴(川に入ります)ぬれた場合の代えの靴、飲み物、タオル  
申込方法 / 電話、Fax、E-mailのいずれかで下記まで。  
申込・問い合わせ先 / 552-0007 大阪市港区弁天2-1-30 環境監視研究所内 淀川水系の水質を調べる会  
Tel.06-6574-8002 Fax.06-6574-0876  
E-mail nakachi@triton.ocn.ne.jp  
主催 / 淀川水系の水質を調べる会、自然学校はじっこクラブ  
共催 / 川の会・名張、木津川源流研究所、(有)ひょうご環境科学研究所

## 映画上映 ロバート・イーズ in「MIE」

とき・ところ / 【四日市】5月15日(木)四日市市文化会館  
【津】5月16日(金)津リージョンプラザ  
【伊勢】5月17日(土)進富座 いずれもPM6:30開場  
参加費 / 前売 一般1000円、中高生・障害者500円  
当日 一般1500円、中高生・障害者700円  
内容 / 女性として生まれ、二人の息子を育てた後、男性として生きる道を選んだロバート・イーズ。最愛のパートナー、ローラと幸せな日々を暮らしていたロバートがガンに侵され、亡くなるまでの一年間を静かに見つめたドキュメンタリーです。性同一障害を扱った作品というだけでなく、人と人の「絆」という普遍的なテーマが感動を呼ぶことでしょう。  
問い合わせ先 / 【四日市】服部 Tel.0593-33-9736  
【津】島津 Tel.090-6801-6685  
【伊勢】高浪 Tel.090-3254-7938  
主催 / 多様な性を考える会

## ボランティア募集「包装紙で?!アクセサリづくり」

とき / 5月16日(金)・6月1日(日)共にPM2:00～PM4:00  
ところ / アスト津3階 ミーティングルーム3(津市羽所町700)  
内容 / MIEチャイルドラインセンターでは、毎週金曜日(PM6:30～PM8:30)・18才までの子ども専用電話「MIEチャイルドラインセンター」を開設しています。この電話は、15才～25才の研修を受けた受け手が、かけ手の心に寄り添い耳を傾ける、かけ手の主体性を大切にしたい電話です。「MIEチャイルドラインセンター」を、子どもたちに知らせるためのカードづくりや組織を継続していくための資金づくりの一環としてアクセサリを作り販売したいと思ひます。講師は伊勢市ボランティア連絡協議会手芸グループあじさい所属の神田寿美子さんです。  
持ち物 / はさみ、えんぴつ、ものさし、あれば包装紙(30cm×30cmの大きさ)絵の具筆(ニス塗り用・使い古しでOK)  
主催・申込・問い合わせ先 / 津市島崎町132-40 (特)三重県子どもNPOサポートセンター内 MIEチャイルドラインセンター  
Tel.059-223-4944 Fax.059-223-3100  
E-mail kodomo@aqua.famille.ne.jp

## 日本を歩こう! 5月16日は旅の日

芭蕉さんとふれあいの旅  
～伊賀から始まる「旅の日ウォーク」～  
とき / 5月16日(金)～18日(日)2泊3日  
ところ / 上野市俳聖殿～津市～松阪市～伊勢おかげ横丁  
内容 / 5月16日は、俳聖:松尾芭蕉が奥の細道に旅立った記念日「旅の日」です。この日にちなみ旅の原点「歩き旅」にて、芭蕉の生誕の地「伊賀上野」から、歴史街道をたどり、日本人の心の原点「伊勢神宮」を目指します。これにより、人々とふれあい、自然や文化等、多くのものを五感で感じ、心の豊かさをとりもどす旅「旅の日ウォーク」の同時実施を、県内及び日本全国に提唱していきたいと考えています。なお今回は伊賀の7市町村で関係者有志による同時ウォークを開催。また、道中である人たちとジャンケン勝負を行い、勝った方には地元伊賀の温泉施設無料入浴券をプレゼントします。  
申込・問い合わせ先 / 三重県ええじゃない会代表・2004伊賀びと委員会広報担当(堀 光一) Tel.090-1416-2657  
主催 / 三重県ええじゃない会 後援 / 2004伊賀びと委員会

## ダルク感謝祭

とき / 5月18日(日)AM10:00～PM3:30  
ところ / 鈴鹿県民の森 野外ステージ横  
内容 / みなさんの愛に支えられて、三重ダルクもこの3月で4周

年を迎えられました。青空の下で、この4年の感謝を込めて皆さんと楽しいひとときを過ごせたらと思います。今年はパーベキューと仲間によるバンド演奏を予定しています。

申込・問い合わせ先 / 三重ダルク Tel.059-222-7510

## 泉の森あそび◆◆◆◆◆

とき / 5月18日(日)AM10:30~PM3:00(雨天中止)  
ところ / 宮川村大字菅木屋地内 泉森林公園  
参加費 / 500円 持ち物 / おにぎり 募集人数 / 100人  
内容 / 木漏れ日の里山の森で、一緒に遊びましょう。森の作業体験、ミニ鉢の絵付け体験、音楽活動、豚汁作りなどを行います。参加対象は近隣在住の障害のある子ども・大人、またはその家族。障害児教育に携わっている方。なお、ボランティアも募集しています。  
応募締切 / 5月9日(金)PM5:00  
申込・問い合わせ先 / れんげの里 Tel.05988-6-3911  
Fax.05988-6-3322(対応時間・平日AM8:00~PM5:30)  
主催 / 泉の森あそび実行委員会

## 初夏だ！田植えだ！田の祭り

とき / 5月18日(日)AM9:40集合~PM2:30  
ところ / 宮川村園区集会所  
参加費 / 中学生以上1500円、中学生以下1000円  
(昼食、温泉入浴券、傷害保険代、収穫米付)  
内容 / お米ってどんな風にできるの？昔のおやつってどんな物？宮川村での、昔ながらの田植えの様子を体験。なお、田に入るとの作業となりますので、汚れても構わない服装で参加してください。  
募集人数 / 70人(定員になり次第締切) 申込方法 / 電話  
申込・問い合わせ先 / 宮川村役場産業課 Tel.05987-6-1714

## ミニ筋肉番付 町屋海岸

とき / 5月18日(日)AM8:30~(雨天順延25日)  
ところ / 津市町屋海岸 参加費 / 無料  
内容 / ビーチフラッグや丸太切りなどの競技のほか、海岸清掃も行います。また、先着200人に貝汁・ごはんのふるまいもあります。  
応募締切 / 5月10日(土)  
主催・申込・問い合わせ先 / 町屋百人衆(担当:宮田)  
Tel.059-232-4306 E-mail machiya@zvtv.ne.jp

## 自然体験教室 バードウォッチング

一 博物館周辺の鳥を調べよう一  
とき / 5月25日(日)AM10:00~正午(小雨決行)以降、7月27日、10月19日、平成16年1月25日、2月29日)  
ところ / 県立博物館学習室集合(津駅より徒歩5分)  
参加費 / 無料 募集人数 / 30人(応募多数の場合、抽選)  
内容 / 博物館周辺には、どのような鳥がやってきて、何を食べ、どんな習性があるのでしょうか。四季を通じて、博物館周辺の鳥を調査・観察します。対象は小学生以上(4年生以下は保護者同伴)、5回連続講座ですのでできれば5回とも参加可能な方。初心者大歓迎！  
持ち物 / 参加証(返信はがき)、筆記用具、図鑑(あれば)、双眼鏡(あれば)、雨具など。 応募締切 / 5月15日(木)必着  
申込方法 / 往復はがきまたはE-mailに住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、下記まで。  
申込・問い合わせ先 / 514-0006 津市広明町147-2 三重県立博物館 自然体験教室「バードウォッチング」係  
Tel.059-228-2283 Fax.059-229-8310  
E-mail miehaku@museum.pref.mie.jp

## 熊野古道探索

とき・集合場所 / 5月24日(土)~25日(日)1泊2日  
四日市駅西口バス乗り場AM7:00~平田町駅AM7:30~白子駅東口AM7:50~津駅栄町3町バス停AM8:20~松阪駅南口AM9:00(それぞれ出発時間の10分前に集合してください)  
参加費 / 大人30000円 子ども12000円  
内容 / 熊野古道にある植物を観察し、自然の大きさ、生命力を味わいましょう。宿泊先でも盛りだくさんの企画を用意しています。  
1日目:各地~尾鷲(昼食)~熊野古道(徒歩)那智大社参拝~串本温泉(泊)  
2日目:串本温泉~海中公園(自由探索)~尾鷲(昼食)~各地  
募集人数 / 40人 応募締切 / 5月15日(応募多数の場合、抽選)

申込・問い合わせ先 / 熊野古道実行委員会(担当:笠田)  
Tel.080-3285-3543(対応時間AM9:00~PM6:00)

## 第15回車イス体験ふれあいウォークラリー大会

とき / 5月25日(日)雨天順延6月1日)AM8:30受付  
ところ / お城西公園集合(津市) 応募締切 / 5月21日(水)  
内容 / 津市社会福祉協議会では障害の有無に関係なく車イスで参加できるウォークラリー大会を開催します。この大会では1チーム4~6人で、チームのうち誰かが車イスに乗り、コースを回ります。チェックポイントでは手話や点字など福祉の要素を取り入れたクイズやゲームをしてもらいます。いろいろな体験を通して車イスの介助方法を楽しみ覚えてもらい、また、障害者と健常者の交流を深めることができればよいと考えています。一人からの申込みもできます。  
【ボランティア募集中】  
ボランティアによる運営委員会が津センターパレス3F、毎週金曜日PM6:30~PM9:00に行われていますので、関心のある方は気軽にお越しください。当日のみのボランティアスタッフも募集中です！  
申込・問い合わせ先 / 津市大門7-15 津市社会福祉協議会  
Tel.059-213-7111 Fax.059-224-6067

## 第5回「心の教育」三重県講演会

~~~~~ 親が変われば子どもが変わる ~~~~~  
とき / 6月8日(日)PM1:30~PM4:00  
ところ / 三重県総合文化センター 中ホール  
参加費 / 1000円(託児有・無料) 主催 / 教育研究会未来  
内容 / 人の幸せや感謝の想いを持つとよいエネルギーが回転し、反対に怒りや愚痴の想いなどを持つと悪いエネルギーが流れます。家庭、学校、職場などでプラスのエネルギーを回転させる正しい心のあり方、胎教、育児の具体的な方法など実体験を交えての楽しい講演会です。育児等で困っているお母様、家庭や職場の人間関係に悩んでいる方、肝っ玉母さんのような北村弥枝講師(教育評論家)の講演を聞いて心をリフレッシュさせてみませんか。第二部の質疑応答では明快な答えを出していただけることと思います。  
託児申込先 / 畑中 Tel.059-255-2849  
問い合わせ先 / 大西 Tel.059-224-6407

## ネットワークのよびかけ

### 映画「able」上映会のためのボランティア募集

とき / 7月5日(土)AM10:30~、PM1:30~  
ところ / 鈴鹿市文化会館 けやきホール  
参加費 / 高校生以下・障害者・障害者の付き添い1名 前売1000円・当日1200円 一般大人前売1200円・当日1500円  
内容 / 『障害者はできないのではない。社会が彼らをしてできないと思って、できなくさせているんだ。』ダウン症と自閉症の二人の青年が言葉も習慣も違うアメリカでホームステイをする三ヶ月間のドキュメンタリー作品。それぞれの可能性「able」を広げ周囲の人との信頼関係をつくっていく姿を追います。主催者である「三重県でスペシャルオリンピックスを始める会」は、知的障害のある人たちによる競技会「スペシャルオリンピックス」への参加者を支援することを目的としたグループです。当日は細川元首相夫人であり、スペシャルオリンピックス日本理事長である細川佳代子さんの挨拶もあります。なお、上映ボランティアスタッフも募集中です。  
主催・申込・問い合わせ先 / 三重県でスペシャルオリンピックスを始める会(代表:木田幸子) Tel.080-3615-8006

## 「健康づくり推進事業者公表制度」のシンボルマークデザイン募集

三重県では、健康づくりの総合計画「ヘルシーピープルみえ・21」を進めています。今回、健康づくりを推進する事業者を公表する際に授与する記念章(シンボルマーク)のデザインを募集します。  
募集締切 / 5月31日(土) 応募資格・応募点数 / 制限なし  
応募方法 / 応募窓口(下記)まで郵送(当日消印有効)  
応募様式 / 官製ハガキまたはハガキ大の用紙を使用し、最低20mm×20mmまで縮小してもわかりやすいものにしてください。用紙1枚につき1点で画材は自由ですが、作品の上下を示してください。作品裏面(ハガキは余白)に簡単な説明、住所、氏名、職業、年齢、電話番号を明記してください。なお、応募作品は返却いたしません。

賞 / (1)最優秀賞1点(採用作品)賞金5万円  
(2)優秀賞3点 各賞金2万円  
応募・問い合わせ先 / 514-8570 三重県津市広明町13番地  
三重県健康福祉部健康づくりチーム  
Tel.059-224-2294 Fax.059-224-2340  
ホームページ <http://walk.to/hpm21>

## e-デモジュニアに参加しませんか!

(<http://www.edj.pref.mie.jp/>)

三重県が運営するインターネットを活用した電子会議室「e-デモ会議室」にジュニアが誕生しました。若者の身近なテーマについて、子どもから大人まで、いつでも自由に参加できる新たな意見交換の場です。e-デモジュニアには3つの特色があります。その1・携帯電話でもパソコンでも参加できること。その2・あなたの好きな話題がつけられること。その3・発言をすると画面の中にタマゴが生まれ、発言が増えるところから可愛いキャラクター「ピヨちゃん」が生まれます。みなさん、気軽に参加してくださいね。

問い合わせ先 / e-デモ会議室事務局  
Tel.059-224-2140 Fax.059-224-2032  
E-mail [e-demo@e-demomb.pref.mie.jp](mailto:e-demo@e-demomb.pref.mie.jp)

## みなさんへのお知らせ

### 【NPOチームから】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は7団体ありました。

引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

#### 認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- (1)MIEチャイルドラインセンター(2)田部知代子(3)津市島崎町132番地の40
- (1)陽光会(2)和田 一(3)熊野市有馬町645番地
- (1)ボランティア千姫(2)吉川栄美子(3)桑名市三栄町39番地
- (1)くわな子どもネット(2)高草 環(3)桑名市大字東方1412番地1
- (1)フリースペースめだかの学校(2)鷲見雅次(3)四日市市諏訪栄町75番地
- (1)在宅支援サービス青空(2)沼田康弘(3)津市鳥居町272番地ウチダビル1階
- (1)植えるComeかわしま(2)稲垣桂子(3)四日市市川島町1645番地  
(平成15年3月19日~平成15年4月15日申請分)

#### 成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人新日本拳法(平成14年12月26日)
  - 特定非営利活動法人グロウイング(平成15年2月5日)
  - 特定非営利活動法人アミニティサポート東海(平成15年3月12日)  
(平成15年3月18日~平成15年4月15日届出分)
- 不明点がありましたら三重県生活部NPOチーム担当・森下(Tel.059-222-5981)までお問い合わせください。

## 特定非営利活動促進法(NPO法)が一部改正

特定非営利活動促進法(NPO法)が一部改正され、5月1日から施行されます。その内容は、次のとおりです。

- 1 特定非営利活動の種類追加と変更  
次の5種類の特定非営利活動が追加されます。
  - (1)情報化社会の発展を図る活動
  - (2)科学技術の振興を図る活動
  - (3)経済活動の活性化を図る活動
  - (4)職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
  - (5)消費者の保護を図る活動

また、「文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」が「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」となります。

2 事業区分の明確化  
NPO法人が行う事業は、「特定非営利活動に係る事業」と「その他の事業」に分かれることになりました。従来の「収益事業」は、「その他の事業」の一つとして位置づけられます。

3 設立(合併)認証の申請に係る申請書類の簡素化

- (1)統合される書類  
イ・役員名簿と役員のうち報酬を受ける者の氏名を記載した書面  
ロ・各役員の見任承諾書と宣誓書
- (2)省略される書類

イ・設立者名簿 ロ・設立当初の財産目録

ハ・設立当初の事業年度を記載した書面

4 定款記載事項の変更

(1)事業年度の追加

(2)「収益事業」から「その他の事業」への変更

5 暴力団を排除するための措置の強化

6 役員の任期の伸張規定の追加

7 事業の変更を伴う定款変更の認証申請に際しての、添付書類の追加  
事業の変更を伴う定款変更の認証申請を行う場合、2事業年度分の事業計画書と収支予算書が必要になります。

8 予算準拠の規定の削除

9 課税の特例規定の追加

認定NPO法人に対する寄附金控除等の特例措置が、NPO法にも規定されます。

10 虚偽報告、検査回避等に対する罰則規定の新設

改正内容の詳細は、内閣府ホームページ(<http://www.cao.go.jp/>)をご覧ください。

## ホームページアドレスとメールアドレスの変更

今まで行政主体のネットワークだったNAVISが民主体のネットワークに移行し、役割を終了します。それに伴い以下のようにホームページアドレスとメールアドレスが変更になりました。ご利用いただいておりますみなさまにはお手数ですが登録を変更していただきますようお願いいたします。これからもより充実した情報等の提供に頑張ります!応援よろしくお祈りいたします!

### 【NPOチーム】

新しいホームページアドレスは以下のとおりです。

<http://www.mienpo.net/npot>

新しいメールアドレスは以下のとおりです。

E-mail [seikunpo@pref.mie.jp](mailto:seikunpo@pref.mie.jp)

### 【みえ市民活動ボランティアセンター】

新しいホームページアドレスは以下のとおりです。

<http://www.mienpo.net/center>

## 助成金 ニュース

家庭・学校・地域社会の連携による地域主体の青少年健全育成体制づくりと活動を支援します!!

### 青少年地域ふれあい環境づくり活動促進事業補助金

受付期間 / 5月1日(木)~5月30日(金)

助成の対象となる団体 / 市町村または地域において青少年育成活動を自主的かつ主体的に行うことを目的として平成13年度以降に設立された団体  
助成の対象となる活動 / (1)青少年地域ふれあい活動事業

ア 自然、生活体験活動 自然観察、環境保全活動、キャンプなどの宿泊活動、伝統芸能継承活動、乳幼児とのふれあい活動など)

イ 社会体験活動 商業、農林水産業や地場産業の体験など)

ウ 科学体験活動 科学実験教室や科学ものづくり活動など)

エ 親子体験活動 ハイキング、読み聞かせ、伝承遊び、工作など)

オ 社会奉仕体験活動 清掃活動、身障者や高齢者介護、消防団活動への参加など)

カ 交流体験活動 スポーツ・文化・芸術活動等を通じた交流活動など)

キ その他子どもと地域とのふれあいを通じた青少年の健全育成を図るための活動

(2)青少年地域ふれあい活動機会提供事業

子ども体験発表会、講演会、セミナー、フォーラム、家庭教育講座、子育て相談、情報誌の発行など、子どもと地域のふれあいを通じた青少年の健全育成活動への学習機会などを地域に提供するために必要な活動

助成の額 / 対象経費のうち15万円を上限。

応募方法 / 各団体の事務所等の住所地の各県民局生活環境部生活環境創造チームに申請書を提出。

問い合わせ先 / 三重県生活部青少年育成チーム(担当:野島) 514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 Tel.059-222-5986

Fax.059-222-5979 E-mail [seiiku@pref.mie.jp](mailto:seiiku@pref.mie.jp) ホームページ

<http://www.pref.mie.jp/SEIKU/gyousei/fureai/index.htm>

## 地域問題研究所活動助成

受付締切 / 5月6日(火)消印有効

助成の対象となる団体(個人) / 国籍・資格不問、活動の遂行、活動助成金の管理、報告事務を含めて、活動計画の推進に責任を持ち得ること。機関などに所属する場合は、本人の所属する機関の承諾が得られること。

助成の対象となる活動 / 都市問題、農山村問題の解決・改善のための市

民活動、地域政策、社会政策の分析や評価のための活動。地域イベントの開催及び成果の取りまとめ。以上の活動に準ずる活動。

助成の額 / 1件30万円を2件

応募方法 / 所定の申請用紙を郵送にて下記まで。

問い合わせ先 / (社)地域問題研究所(担当:福地、松村) 460-0003  
愛知県名古屋市中区錦1-10-27カネヨビル4階 Tel.052-232-0022  
Fax.052-232-0020 E-mail office@chimonken.or.jp  
ホームページ http://www.chimonken.or.jp

## (財)ハウジングアンドコミュニティ財団

「知恵のネットワーキング」地域づくり活動支援助成2003

受付締切 / 5月21日(水) ただし、応募要項請求締切は5月13日(火)  
助成の対象となる団体 / 地域密着型で地域を元気にし、魅力あるものにしていく活動に取り組む住民主体のグループ・団体。特定非営利活動法人を含む。  
助成の対象となる活動 / 1、都市と農山漁村など地域間の連携・交流の取り組み。2、地方のまちや地域の再生への取り組み。

助成の額 / 1件あたり50万円を限度とし、15件程度を予定。  
応募方法 / 応募要項および応募用紙はホームページからダウンロード。郵送希望者は5月13日(火)必着で送料分の切手(1部140円)を貼り郵送先を記入した返信用封筒(A4用紙が入る大きさ)を同封し、下記まで請求。

問い合わせ先 / (財)ハウジングアンドコミュニティ財団「知恵のネットワーキング」係 105-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階  
Tel.03-3586-4869 Fax.03-3586-3823  
ホームページ http://www.tokyoweb.or.jp/housingandcommunity/

## 社会貢献支援財団 表彰候補者推薦

受付締切 / 5月15日(木)必着  
推薦対象 / 長年社会のために貢献されている方、積極的に他人のため尽くしている方。

表彰部門と賞 / 【第一部門】緊急時の功績 / 日本財団賞(副賞・賞金100万円)

【第二部門】多年にわたる功労 / 日本財団賞(副賞・賞金100万円)

【第三部門】特定分野の功績 / 日本財団賞

- (1)海の貢献賞(副賞・賞金100万円)
- (2)国際協力賞(副賞・賞金100万円)
- (3)ハッピーファミリー賞(副賞・賞金100万円)
- (4)21世紀若者賞(副賞・賞金20万円)

応募方法 / 郵送・Faxの場合、推薦用紙を取り寄せるか、ホームページからダウンロードして使用。インターネットの推薦フォームも利用できます。

問い合わせ先 / 社会貢献支援財団 105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16  
Tel.03-3502-0910 Fax.03-3502-7190 E-mail fesco@mve.biglobe.ne.jp  
ホームページ http://www.fesco.or.jp/

## 「24時間テレビ」チャリティー 第26回福祉車両寄贈申込み

受付締切 / 5月31日(土)消印有効  
対象団体と寄贈車種 / 1・スロープ付き普通自動車・スロープ付き軽自動車・リフト付きバス(社会福祉法人(社協以外)社会福祉法人(社協)NPO法人、非法人、地方公共団体、医療法人、ボランティア団体、学校法人、民法法人(社団・財団)生協、広域連合など

【2・入浴専用車・入浴専用車(軽)】1に加えて、介護保険制度の入浴事業者認定団体。但し、自治体から委託された業者は贈呈対象外。

【3・電動いす・折畳み式電動車いす・電動四輪車】1に加えて、個人。  
応募方法 / 所定の申込書を下記まで送付。

応募先 / 「24時間テレビ」チャリティー委員会事務局 102-8004  
東京都千代田区二番町14 日本テレビ内 Tel.03-5275-4340  
問い合わせ先 / 中京テレビ放送株式会社 Tel.052-971-2500

## (財)大同生命厚生事業団

受付締切 / 両助成とも5月31日(土)必着  
【サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成】  
助成の対象となる団体・個人 / 社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン(ウーマン)の個人もしくはそのグループ。ただし、過去5年以内に本助成を受けた人(グループ)は除く。  
助成の対象となる活動 / 1、高齢者福祉に関する活動。2、障害者福祉に関する活動。3、子ども(高校生まで)の健全な心を養うための交流活動。  
助成の額 / 総額600万円以内。1件20万円(最高)30件以内。

他に【地域保健福祉研究助成】があります。  
助成の額 / 総額3750万円以内。1件50万円(最高)75件以内。

応募方法 / Faxまたは電話などで下記まで所定の申込書を請求するか、ホームページからダウンロードし使用。

問い合わせ先 / (財)大同生命厚生事業団事務局  
550-0002 大阪府大阪府西区江戸堀1-2-1 大同生命大阪本社ビル内  
Tel.06-6447-7101(代) Fax.06-6447-7102  
ホームページ http://www.daido-life-welfare.or.jp

## 水域環境をめぐる学習活動等の成果公表支援

受付期間 / 5月1日(木)~6月2日(月)必着  
助成の対象となる団体 / トータルに水の係わる世界を様々な形で見つめ、調査・研究・学習活動を行うNGO・NPO・任意の市民グループ。

助成の額 / 上限100万円。  
応募方法 / 申請書等の申込みは、電話で連絡。  
問い合わせ先 / (財)日本科学協会「水域環境をめぐる学習活動等の成果公表支援」係 107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階  
Tel.03-6229-5365 Fax.03-6229-5369 E-mail jss@silver.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.jss.or.jp/  
この事業は、日本財団の助成金により実施するものです。

## ニッセイ財団高齢社会福祉実践的研究助成

受付締切 / 6月10日(火)消印有効  
助成の対象となる研究 / 1、高齢化に対する地域福祉の実践研究。2、要介護高齢者に関する介護・福祉援助の実践的研究。

助成の額 / 総額2000万円  
応募方法 / 募集要項などは所属機関の名称、送付先、住所、氏名を記入し、封書で160円切手(送料)を同封して下記まで請求するか、ホームページからダウンロード。

問い合わせ先 / ニッセイ財団高齢社会福祉部  
541-0042 大阪府大阪市中央区今橋3-1-7 日生今橋ビル4階  
Tel.06-6204-4013 Fax.06-6204-0120  
ホームページ http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/

## (財)太陽生命ひまわり厚生財団社会福祉助成

受付締切 / 6月30日(月)必着  
助成の対象となる団体・個人 / 社会福祉の向上に寄与することができる非営利の民間団体。(研究助成には個人を含みます)

助成の対象となる活動 / 【1、事業助成】1)在宅高齢者の福祉に関する事業への助成。(2)民間ボランティアグループなどへの助成。(3)障害者の福祉に関し、啓発し、開発し、または普及深化させる事業への助成。(4)障害者に対する授産施設または小規模作業所の整備事業への助成。

他に【2、研究助成】があります。  
応募方法 / 申込書は応募申込者の団体名、住所、氏名、Telを記入し、Faxまたは郵便で請求。

問い合わせ先 / (財)太陽生命ひまわり厚生財団事務局  
103-0027 東京都中央区日本橋2-11-2 太陽生命ビル内  
Tel.&Fax.03-3272-6268

## ユニバーサル財団 市民活動助成

受付締切 / 7月31日(木)必着  
助成の対象となる団体・活動 / 「新しい世紀の社会づくり」長寿社会をテーマに国際的視野に立つ市民活動を応援します。

1、高齢者が活動する市民活動団体。2、高齢者の医療・保健・福祉、まちづくりなど、高齢者を対象とする市民活動を行う団体。  
助成の額 / 1件当り100万円を限度。

応募方法 / 申請書は下記に問い合わせるか、ホームページからダウンロード。  
問い合わせ先 / ユニバーサル財団 160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル 5階  
Tel.03-3350-9002 Fax.03-3350-9008  
E-mail info@univers.or.jp ホームページ http://www.univers.or.jp/

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。  
財団法人 助成財団センター  
Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858  
ホームページ http://www.jfc.or.jp/

# 各分野のネットワークから

## 子育て支援キャラバン 協働実践レポート "パート1"

昨年の10月から今年の3月まで各地域で活躍したキャラバンスタッフからの報告第一弾です。

この半年間NPO・行政に少し関わりをもつことができ、まず、行政は日々の業務や今ある仕事に忙しいという事が分かった。更に予算のカットが続きとても新しい業務に取り組む余裕はないように感じた。学校週5日制、ネット情報の氾濫など子どもを取り巻く社会事情が変化し、女性の社会進出を進める一方、それに対応すべき行政の変化は遅れている。けれどこれだけ予算や人材不足の中、行政にばかり注文を出しても無理ということもよく分かった。住みやすい地域を作るためには住民やNPOなどと行政との協働が必要不可欠である。けれどNPOと行政と一緒に話し合う場があまりに少ないと思う。目前の合併後一体私たちの住んでいる地域がどう変化するのが不安である。(東紀州)

子育て支援の調査で市町村を回ってみると、現場の保育士さんは一生懸命で、ニーズの把握、支援の方法等で悩んでみえます。ところが、

特定非営利活動法人久居市子育て支援ネットワークNPOどんど

514-1116 久居市新町3006ポルタひさい1階 Tel.059-254-6080 Fax.059-254-6090

E-mail dondo@pasoya.jp ホームページ http://www.pasoya.jp/ dondo/

子育て支援キャラバン事務局 上記、NPOどんど内 E-mail caravan@pasoya.jp ホームページ http://www.pasoya.jp/ caravan/

それらの問題は、子どもという切り口で捉えた“まち全体の問題”になっていません。行政同士の連携も必要ですが、ニーズが多様化している現在、何をすべきかは、その地域にあったものを市民と共に考え、共に創っていく必要があると強く思いました。(北勢)

子育て支援という言葉は、育児が中心のような印象を持ち易いが、母親の再就職や福祉制度、精神的サポート等、支援の内容は幅広いです。国や行政の様々なサービスも、子育て不安を訴える母親の層にはまだまだ支援が行き届きにくい状態ではないでしょうか。そういった親への支援策をさらに考え取りこんでいく必要性を感じます。(伊賀)

市町村の担当の方にご協力いただいてアンケートや事業の情報収集をしました。子育て中で、専門知識も活動歴もないいち市民としてお手伝いしましたが、予想以上に事業内容は豊富で、もっと利用したかったと思うことも多々。“知らせたい、知りたい”最新情報がもらえる情報図書館みたいなところがあればいいなと思いました。(南勢志摩)

HPを一部リニューアルしました。ぜひ見てくださいね!



## 北勢地区

特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと 常務理事 辻本晴美

510-0033 四日市市川原町26-13

Tel.0593-31-0713 Fax.0593-31-0719

### 地震対策講座を開催しました。

近頃は、近々地震がおきる確率が高いといろいろに取りざたされています。四日市市民活動センターでも、2月は、防災袋を作ってみよう、3月は図上訓練の防災講座を開催いたしました。「防災袋を作ろう」のほうは、県のマニュアルに沿って作った防災袋を自分用に見直すという内容です。必要なものは、それぞれの事情に応じて違うだろうし、必要なものを詰め込みすぎて担げなくなったら大変!ですから。3月は、その防災袋を担いだつもりで、出先で突然地震が起きたらどこへどうという経路で避難するのかの訓練をしました。2月は、四日市在住の松野博さんの協力で、3月は、「防

災一座」という団体の協力で、盛り上がる事ができました。この訓練をしてみて感じたことは、被災戸数何軒、負傷者何人程度の規模といわれても、ピンとこないことです。避難訓練は、昨年のと合わせて今回で4回になります。いたづらに地震災害を恐れることもよくないと思いますが、きちんとした知識の元に、準備しておくことは、大事なことです。予備知識があれば、迅速に対処できるかもしれません。



防災図上訓練の様子。

各地の

ネットワークから

## 伊賀地区

W.T.Aまちづくりセンター情報 No.12

〒518-0967 上野中宿8073377  
Tel:0595-24-7612 Dto:9226-1926  
Fax:0595-24-7613 センター 4室 2F  
E-mail: info@wta.or.jp

いっしょくめ 5月19日(月) 17:30~21:30 伊賀県民会 4F 2室!!

今日の報告

いっしょくめ

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。明和町在住の江京子さんが推薦してくださったのはCAPみえ事務局の角井多万紀さん。子どもへの暴力防止をテーマに活動されています。

**子どもの権利を守るCAP(キャップ)**

……CAPとはどういうグループですか？

子どもへの暴力防止をテーマに、「子どもが自分で自分の身を守り、自分自身の力を感じることができる」参加型体験講習を実施しているグループです。それを私たちはCAPワークショップと呼んでいます。暴力防止とは自分の権利を守ること。それは自分を大切にすることであり、人も大切にできるということなんです。私たちは子どもたちに対して「あなたには安心して、自信をもって、自由に生きる権利がありますよ」と伝えています。

……角井さんがCAPに出会ったきっかけは？

6～7年前、隣家の方が見せてくれた新聞記事がきっかけです。当時、近くで誘拐未遂騒ぎがあって、「子ども自身が暴力に対抗できるってどんなことなんだろう」と思い、勉強会に参加しました。

……勉強会に出席して、どんなことを感じましたか？

最初に感激したのは、人に掴まれたらどうするか教えてくれるセルフディフェンス。娘たちにも見せたい!!って思いました。学んでいくうちに気に入ったのは「人はひどい目にあってはいけない存在なんだ」と訴えているところ。それにセミナーを受けるとなぜか元気になるんですよ。それでCAPのセミナーがあると参加する、まるで「おっかけ」みたいなことをしていたんです(笑)。

……受講者からスタッフの側になった理由は？

CAPプログラムを伝えると子どもたちが「自分には元々、力があるんだ」と感じていく様子がわかると聞いたから。それが見たくて、そのためにスペシャリストと呼ばれている、プログラムを提供する人になる必要があったんです。あと、私は長い間、CAPのセミナーを受けると自分が元気になる理由がわからなかったんです。今はそれが「自分自身が自分の本来の力に気づけるからだ」とわかったんですけど。スペシャリストになったら、そんなCAPの良さを上手に伝えられるんじゃないかなと思い、5日間に渡って、40時間もの養成講座を受けました。

……スペシャリストになる決心はすぐにつきましたか？

それがなかなか(笑)。「やってみない?」と何度も声をかけてもらったんですけど自分にはできないって。その一方で「県内各地追いかけて、私はどうしたいんだろう…」って悩んでいたんです。そんな時、夫に「お前、めっちゃ中途半端やなあ」と言われて(苦笑)。それで腹を決めたところもありますね。

**CAPみえ事務局**

かくい

たまき

**角井多万紀**

さんに

**聞く****寸劇を通して、自分自身の力に気付く**

……CAPみえのメンバーは何人くらいなのですか？

実働は10人くらい。主に学校でワークショップを実施しますので、忙しいのは秋。その時には全員が出かけていることもあります。

……活動範囲は？

呼ばれればどこへでも。桑名から名張、尾鷲まで、出かけます。

……ワークショップは有償ですか？

1回3万円です。CAPの理念をお話する勉強会を予算に応じて行うこともあります。三重県でも市町村単位で、教育委員会が予算を出してくれる所もありますし、鈴鹿では毎年「4年生に」とワークショップを実施してくれている学校もあります。あとはPTA。熱心な方が中心になって、人に働きかけてくれたりします。

……子どもたちへのワークショップを具体的に教えてください。

3人1組で出かけます。役割には寸劇を行うロールプレイヤー、進行役などがあります。まず権利の話を行い、次に「いじめの場面」「知らない人による誘拐の場面」「知っている人からの性的暴力の場面」という3つの寸劇を行います。細かな内容は学年によって変わります。「いじめの場面」を例にとれば、低学年の場合は「カバンを持ってよ!」という程度ですが、高学年になると恐喝になります。

……寸劇は子どもたちが演じるのですか？

私たちが演じます。子どもたちには劇を見てもらって「どんな気持ちだった?」「自分だったら、何ができる?」と問いかけ、意見を出してもらいます。「それを取り入れて、自分の権利を守る劇をやるね」と進むんですが、子どもたちが「自分もやりたい」という雰囲気になります。そこで友だちを助ける役で参加してもらいます。もうみんな喜々として演じてますよ。扱っているテーマがいじめや性暴力、誘拐でしょう?押し黙ってやっていると、子どもたちも本当に怖いと思うから、遊んでいるような雰囲気が良いんです。それに私たちが提案したこと「イヤと言ってもいいよ(NO)逃げてもいいよ(GO)誰か信頼できる人に話そう(TELL)はできなくても「友だちが言ったことならできそうだ」と思うこともあるでしょう。いろんな意見のなかから、実行できそうな方法を見つけてくれているんじゃないかな。

……具体的な対処法なども教えるのですか？

誘拐の場合なら、友だちの叫び声が聞こえたら、一緒に叫びながら出ていこうと伝えて、教室で叫ぶ(笑)。それも遊びの時に使う甲高い声じゃなく、お腹の中から出す低い叫び声で。あと、蹴り方。よく「急所を狙え」と言いますが、高く足を上げると掴まれやすい。だから蹴る時はむこうずねを蹴ろうと伝えます。でも必ず「絶対に怖い目にあった時しか、やっちゃいけないよ」と何度も言います。これらは相手に立ち向かうためのものではなく、逃げる隙をつくるための技術。あと、どの場合も必ず信頼できる人に相談するよう伝えます。

……信頼できる相談役を探すのも難しいのでは？

子どもたちにワークショップ行う前に親と先生たちにも短くまとめたダイジェスト版を受けてもらっています。信頼できる大人づくり、サポート態勢づくりですね。それと地域の人も巻き込むために、校医さんや地域の民生委員さんにも参加を呼びかけています。

……大人の反応は？

親と子がワークショップを受けることで「子どもがどう思ったか、話をしたい」とおっしゃる方や「自分が子どもの時にこのCAPの話を

知っていたら...」と言う方も多いです。

.....子どもに「権利」を教えることを嫌がる人はいませんか？

「子どもに権利を教えたならゲームばかりするやん」と言う人もいますね(笑)でもね、「あなたには権利がある」と話したら、小学校2年生の子が「先生にも権利があるよな」と。凄いですよね。

.....プログラムのバリエーションは？

## CAPのセミナーがあると参加する、まるで「おっかけ」みたいなことをしていたんです

CAPプログラム自体は全国共通で、就学前・小学生・中学生プログラムというふうに年齢にあわせて用意しています。あと事前の打ち合わせで「最近、変な人が出る」とか地域の問題を、大人の講演の部分で織り込んだりはしています。

.....対象の人数は？

1クラス単位。クラスごとに抱えているものが違うし、なかには実際に傷ついている子がいることもありますから。3人で出かけるのは、1人が進行している時、残りの者が子どもの様子を見るという意味でも必要なんです。

.....観ていて、どの子が傷ついているのかわかりますか？

傷ついた子は「この人たちがイヤなことを思い出させるかもしれない」と思って、最初はずっと下を向いていたりします。でも、ワークショップが進むうちに、顔がだんだんと上がってくる。そして、最後に取る無記名のアンケートに「前に怖い目にあっただけど、今日の話聞いて、今度は何かできるかもしれない」なんて書いてある。実際に怖い目にあったら、何もできないかもしれないけれど、逃げる技術を覚えることで、恐怖も和らぐんじゃないかな。このプログラムは予防のためのものなので、確実に成果が見えるものではないですから、「有効とは言えない」とおっしゃる方もいますが、無効でも無いだろうと感じています。

.....子どもから悩みを相談されることは？

ワークショップの中で「困っていることがあったら、話に来ていいよ」と言っています。これはクライシスカウンセリングといって、緊急の相談を受け、問題を他の専門家などに繋ぐ仕事です。私たちはワークショップ当日しか、その子に関われませんから、その後のことを専門家なり、周囲の大人たちに繋げていくんです。

.....直接、解決に対応することは無いのですね。

ええ。子どもが相談に来た場合、まずきちんと話を聞き、「大変だったね。あなたは悪くないよ」と伝えます。次に誰かに話をしたか聞き、誰にもしていない場合は例えば「お母さんに話してみたら？」と持ちかけます。そこで終わると子どもも戸惑うので、私がお母さん役になって練習をします。一度、誰かに話すと、言いやすくなると思うんです。虐待の場合などは通報の義務がありますから、子どもにきちんと「この話は二人の秘密にするわけにはいかないかもしれない。専門家の人に話をしてもいい？」と伝えます。

## 「あなたには悪くない」と伝えてあげたい

.....暴力の被害にあっていても表面上は見えてこないですよね。見えないから、いると思っていないでしょう？実は被害者はたくさんいるのに。例えば公園の水道で水遊びをしていた女の子に、知らない男性が「そんなことをしちゃいけない。お巡りさんに言うよ」と言っ

て、身体を触ってきたとします。子どもはその時点で、自分が悪いと思ってしまうんです。親に話をすると「水遊びなんかしてるから」と怒られる。悪いのは加害者なのに、誰もその男性が悪いとは言ってくれないから、子どもはますます自分が悪いと思ひこむ。そうなると、誰にも言えなくなりますよね。そんな理不尽な思いをしている子どもに、活動を始めてからたくさん出会いました。

.....加害者にも、被害者に負い目を感じさせる技術があると？

声を大にして言いたいんですけど、加害者は「その気」で来るから上手なんです！何より大事なのは子どもに自分は悪くないとわかってもらうこと、そして相手の話を聞くことです。「変なおじさんが...」と話しかけてきた時に、「あんたが悪い」と怒られるとそれ以上何も言えなくて、ただ恐かったことだけが頭のなかで悶々としながらふくらんでいく。それが「大丈夫だった？恐かったね」と共感の気持ちを持って聞けば、子どもも恐怖を話すことができますよね。話を聞いてもらえるだけでも、ほぼ8割は心が癒されると言われていますから。.....子どもに対しての暴力だけでなく、暴力全般についてもいろいろ思うところがあるのでは？

CAPで「暴力は心と体を深く傷つけるもの」と知ってから暴力について考えることが多くなったし、敏感にもなりました。暴力防止の話をしている途中でも、友だちをこづいて遊んでいる子がいるんです。その子は悪い子じゃないんだと思うけど、コミュニケーションの方法が暴力なんです。暴力を使わなくてもコミュニケーションは取れるということをおさいうちに学んで欲しいんですけど、生活環境の中に暴力があるから...。子どもを育てるためには環境が大切なのに、世の中で暴力ってすごく許されているでしょう。テレビの中で人が殴られたり、蹴られたり、死んだりするのを一日何回も目にするし、だんだん麻痺していくのが怖い。それに暴力は被害者と加害者だけでなく、それを見ている第三者も傷つくんです。

.....CAPに出会って、角井さん自身変わりましたか？

私自身もしつめたと思って、叩いたことがありました。叩くと自分も気分が悪いとわかっているのにね。今でも良いお母さんになったとは思っていないけど、前よりは子どもの気持ちを尊重し、話を聞くことができるようになったかな。「今日は何があった？どうした？」っていうのは話を聞くんじゃなくて、事情聴取(笑)子どもが話してきたことを、「うん、うん」と聞くのが本当の聞くということですよ。おかげで、あまり話さなかった下の娘がよくしゃべるようになったし、家の中はすごく変わったと思います。夫は「この家はみんなが権利、権利って言う！」って言ってますけど(笑)

.....活動の楽しみは？

依頼を通して人と繋がっていくのがすごく楽しい。子どもの安全を考えている方がたくさんいると感じると、すごく力になります。同志って感じ。あと、アンケート。「今日、習ったことを考えていると、元気になれる。強くなったような気がします」という感想があると、自分の力に気付いてくれたのかなって。それが嬉しい瞬間かな。

CAPみえ事務局

住所 / 鈴鹿市柳町1161-19 Tel.&Fax.0593-83-4731  
携帯090-6089-7134(担当:角井)

角井多万紀さんはこの人を**紹介**します。

大嶋敬子さん

老人福祉施設などを訪ね、音楽の演奏会やその司会などをされています。「老人保健施設のマドンナなんです」と言うのが角井さんの推薦の言葉です。

お  
ね  
が  
い

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seikunpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。

8

2100

PRINTED WITH SOYINK

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。



CAPみえの活動が紹介された新聞です。